



名古屋市立中学校におけるキャリアサポート事業

# キャリアナビ通信 vol.3

人を思いやる気持ちのない知性は、  
 すごく危険な武器なのよ

フランソワーズ・サガン / フランスの作家・劇作家

夏休み



## 自分も、周りの人も大切にする

先月 1 年生で実施した「スマホ・ケータイ安全教室」で、スマホ・ケータイは便利で楽しいけれど、取り扱い注意という話をしました。中学生になってスマホやケータイを使用する機会が増えた人も多いと思いますが、皆さんは安全に使用できていますか？使用している人も使用していない人も、自分だったらどうするか？夏休みを前にスマホ・ケータイの使い方を振り返ってみましょう。1年生は復習も兼ねて考えてくださいね。

### ■ メッセージアプリ

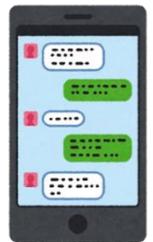
文字のみのコミュニケーションで、どんなことに気をつけると良いかな？

#### 【ケース1】

A子「明日、イノッコモールに行こう！」  
 B子「私も行きたい！」  
 C子「B子はなんで来るの？」  
 A子B子「え…C子ひどい…」

#### 【ケース2】

A子「アニメウリンボの●●君、ステキ」  
 B子「だよね♪」  
 C子「●●君、イケメンじゃない」  
 A子B子「え…C子ひどい…」



どうすればよかったかな？また、この後はどうする？ A子・B子・C子それぞれの立場で考えてみよう！

### ■ SNS 投稿

SNS の投稿で、安全でないところはどこだろう？



家の窓からきれいに虹が見えた♪  
 今日も 1 日塾ガナルぞ 9 ('ω') 9



大相撲の稽古を見学。スゴイ迫力！  
 写真撮ったら偶然友達を発見 ww

# 中学生が身に付けたいネットリテラシー

## ■『誤解』や『勘違い』はないか？考える

文字のみのコミュニケーションの場合、お互いの表情や声の調子、身振り手振りなどが見えないため、『誤解』や『勘違い』が起きてしまうことがあります。例えば、表面の【ケース1】の場合は「どういう方法で来るの？」という交通手段を確認するつもりが「なぜ来るの？≒来てほしくない」という意味で受け取られてしまったという例です。このように、同じ言葉でも人によって受取り方が違う場合があることを認識し、メッセージを発信する前にはよく読み直して『誤解』や『勘違い』を与えない内容になっているか確認しましょう。受け取った側の時も同じです。「本当はこういう意味だったかも？」と読み直して、冷静に落ち着いて対処する必要があります。表情が見えない分、相手の気持ちを考えた正しいコミュニケーションを意識しましょう。



## ■『SNSは世界中の人が見ている』と考える

インターネットは学校でも家でも利用していて、生活に欠かせないものになっています。また、家族や友だちなど身近な人とのコミュニケーション手段として、SNSを使い始めた人も多いのではないのでしょうか。投稿された画像や動画を見たり、情報収集するなど楽しく便利な一方で、様々なトラブルが起きています。SNSでの投稿で特に考えてほしいことは、『個人情報

の漏洩』と『著作権の取り扱い』です。例えば家から見えた「虹」を撮影して投稿したつもりでも、ビル名など周りの景色から住所が特定されるかもしれません(個人情報の漏洩)。もし悪意のある人に個人情報が知れてしまうと、予期せぬ犯罪に巻き込まれる可能性もあるのです。また、著作権侵害にも気をつけましょう。アニメキャラクターやゲームの映像を投稿した場合、それは誰かの許可を得て投稿しているのでしょうか？友達の場合でも、無断で写真を投稿することは「著作権侵害」や「肖像権侵害」になってしまうこともあります。①友達の写真を撮影する場合には許可を得ること、②SNSへ投稿することの許可を得ることが事前に必要です。

ネットリテラシーはこれからの情報社会を生き抜くために必要な力です。自分も、周りの人も大切にするために、身に付けていきましょう。

### ◆◆◆◆ 1年生が考えた「スマホ・ケータイ」自分なりのルール ◆◆◆◆

SNSに勝手に写真や人のことをアップしない。スマホを見る時間を決める。フィルタリングを利用する。

年齢制限をする。知らない人に会いにいったりしない。ゲームをやりすぎない。

メールやLINEはしっかり相手に伝わるように文字を打つ。家族と一緒に作ったルールを守る。など

スマホ・ケータイの使い方について、夏休みに家族と一緒に話してみてもいいかな？



文部科学省

情報化社会の新たな問題を考えるための教材

## フィルタリングを必ず利用しましょう!

従来型の携帯電話は①、スマートフォンは①②③に対応するフィルタリングが必要!



子供が安全にインターネットを利用するためには、スマートフォンの場合、①②③の3つのフィルタリングが必要となります。携帯電話大手3社が提供する「あんしんフィルター」などでは、簡単な設定で①②③のフィルタリングが可能です。

①携帯電話回線による接続

②無線LAN回線(Wi-Fi)による接続

③アプリによる接続



使用時間や利用できるアプリの制限など、子供の年齢に応じた制限レベルを設定しましょう。

※iPhoneでのアプリ制限や利用時間制限は、端末の設定を行う必要があります。

SNSによるトラブルを25パターンの動画で知ることができます。観てみましょう。↓↓

